

会員活動部

1. 会員活動部の概要

会員相互の交流を促進するとともに、診断士能力の向上支援や仕事につながる機会の創出を図ることにより、会員活動の充実を目指します。

(1) 定例研修交流会

毎月第3土曜日(8月を除く)の午後に開催します。内容は、理事会報告、研修、懇親会等です。

(2) イベント企画

県協会への入会を促進するため、埼玉フレッシュフォーラム、埼玉オータムフォーラムを開催します。

その他、工場見学等、会員が知見を広げるとともに、会員相互の親睦を図ることのできる企画に取り組みます。

(3) 調査研究事業

県協会主催により、中小企業が抱える今日的な課題について調査研究を実施し、新たな診断支援技術を開発することを目的に、会員で構成するグループに委託します。

調査研究成果については、診断支援現場に活用できるよう、報告書を作成するとともに一般に公開します。

(4) 研究会・同好会支援

会員が中小企業支援等に関するテーマについて、スキル向上及び仕事機会創出の場として取り組む研究会活動、また、会員の協会活動促進と親睦を図り、健康増進や趣味を目的とした集まりとして取り組む同好会活動の支援をします。

(5) 新入会員交流会

協会への入会歴が1年未満の会員を対象に、先輩診断士によるパネルディスカッション、診断士活動における様々な疑問に答えるグループディスカッションなどから成る交流会を、毎年春と秋に実施しています。



埼玉県産業技術総合センター(SAITEC)様、施設見学会

定例研修交流会の研修内容

月	テーマ	講師
4月	中小企業向け投資支援パッケージ(令和6年度補正予算等)	経済産業省 関東経済産業局 地域経済部 次長 室住敬寛様
5月	健康経営推進の取組み	全国健康保険協会 埼玉支部 支部長 榎原章統様 保健グループ グループ長 脇之園明子様
6月	埼玉県商工会連合会 「広域指導員」制度による支援機能強化サポート ～商工会の付加価値向上と支援能力向上を目指して～ ①募集職種と求人票の関係は常に1対1 それとも1対n? ②シニア人材と企業をつなぐ埼玉モデルについて ③労働トラブルの解決に向けて	埼玉県商工会連合会 広域指導員 笠原亮彦様 埼玉県企業人材サポートデスク 人材戦略アドバイザー 遊亀泰之様 埼玉県 産業労働部 雇用・人材戦略課 企画・労働団体担当 主幹 藤岡晃一様 埼玉県 労働委員会事務局審査調整課 審査調整第一担当 主幹 松本由美子様
7月	創業支援の現場から トランプ関税、その影響と対応策 「さいたまマラソン」企業版ふるさと納税へのご協力依頼について	日本政策金融公庫 さいたま支店 国民生活事業 事業統轄 都築栄太様 むさし証券株式会社 営業統括部長 ストラテジスト 杉山武史様 さいたま市 スポーツ文化局スポーツ部 スポーツイベント課 係長 木元智久様
9月	埼玉協会初試行! 企業内診断士に関する関東経済産業局マネジメントメンター登録制度との連携について 3年目突入 企業内診断士向けプロボノ事業の取組について	経済産業省 関東経済産業局 地域経済部 産業人材政策課長 麻生浩司様 研修部 勝本光久会員
10月	埼玉県のDX支援策を読み解く ～DX推進支援ネットワークとノーコード活用～ 地域包括ケア課の取組紹介	(公財)埼玉県産業振興公社 経営支援部 DX推進支援グループ DXコンシェルジュ 原裕厚様 埼玉県 福祉部 地域包括ケア課 地域包括ケア担当 主査 小賢裕介様
11月	公益財団法人さいたま市産業創造財団事業紹介	(公財)さいたま市産業創造財団 企業支援課 主査 内田麻子様 勤労者福祉サービスセンター 主査 栗原健明様
12月	地域経済分析システム (RESAS) 新システムを活用したデータに基づく経営環境分析について	経済産業省 中小企業庁 事業環境部 調査室 室長補佐(事業環境地域分析担当) 田中幸仁様
1月	埼玉県産業技術総合センター (SAITEC) の企業支援について JICAの中小企業の海外事業展開にかかる支援制度のご案内	埼玉県産業技術総合センター (SAITEC) 北部研究所長 出口貴久様 生産技術・事業化支援室長 宇野彰一様 独立行政法人国際協力機構 東京センター 市民参加協力第一課 専門嘱託 清水 俊博様
2月	埼玉県中小企業診断協会様と立正大学の連携を模索する ～教育活動を中心に～	学校法人立正大学学園 経営学部 教授 川村悟様
3月	認定医療法人制度を活用した持分なし医療法人への移行推進について 陸上自衛隊及び大宮駐屯地・化学学校の概要 並びに 陸上自衛隊の援護・予備自衛官業務	厚生労働省 医政局 医療経営支援課 医療法人支援室 室長補佐 地域医療連携推進法人指導官 田川幸太様 医薬経営専門官 鈴木宗之様 防衛省 陸上自衛隊 化学学校 研究部長 1等陸佐 松嶋典之様 自衛隊埼玉地方協力本部 援護課 援護課長 防衛事務官 小林洋一様

会員活動部 2

2. 2025年度の活動実績

(1) 定例研修交流会

今年度は、リアルを中心としてZoomを併用しながらのハイブリッド開催も行いました。理事会報告、研究会紹介、外部講師を招いての研修会、また、懇親会を開催し、会員の皆様に研鑽と交流の場を提供いたしました。

(2) 研究会活動

→P46 研究会活動

(3) 埼玉フレッシュフォーラム・オータムフォーラム

新入会員歓迎イベントとして、4月にフレッシュフォーラム『未来の自分に”ワクワク”する1日』、10月にオータムフォーラム『つながる。学ぶ。動き出す。今日が未来の転機となる日。』を開催しました。既存会員の皆様に協力いただいたグループディスカッション、懇親会など、アットホームな雰囲気楽しんでいただきました。



フレッシュフォーラム

(4) 新入会員コミュニティ

新入会員コミュニティは、「新会員の繋がり」を提供することを目的に協会入会1～2年目(原則)の会員により、自主的に運営しています。今年で9期目となる25年度は、毎回30名近い新会員に参加いただき、オンライン開催を中心に3ヶ月に一度リアル開催もしております。

先輩や同期の診断士と情報交換ができ、協会入会后に「どのように活動をしていくと良いのか」、「新人同士のネットワークに入って情報交換したい」など、新人特有のお悩みや想いに寄り添うアットホームなコミュニティです。毎月月末最終週の夜に参加者が楽しみながら交流を続けています。



12 月度「新入会員コミュニティ交流会」写真(リアル開催)

(5) 実行委員活動

フレッシュフォーラム・オータムフォーラムは新たに県協会に入会された方を中心に実行委員として企画運営を行っています。フォーラムの成功はもちろんのこと、新入会員同士の交流の場としても役立っております。新たにご入会される方は、県協会に慣れていただくためにも是非参画をご検討をお願いします。



実行委員の活動風景

(6) 会員活動部の紹介

現在26名で活動を行っています。会員の皆さまに喜んでいただける企画運営を目指します。

理事:五十嵐晃(部長)、鷹巣克巳、安元計皓、加藤清孝、安永豊子

部員:古賀英右、大竹寛征、下山貴、吉井洋、金子典正、濱田健嗣、堀江顕介、玉井宏明、工藤晃、中原賢二、佐合和行、青柳淳、工藤俊明、岸忠生、木下淳子、鈴木克弥、戸塚孝英、阿部龍雄、笠智憲、村田沙織、齋藤徹太

3. 会員活動部員の声

私は2024年5月に企業内診断士として県協会へ入会しました。定例会やフレッシュフォーラム実行委員への参加を通じ、皆様と温かく交流できる場の素晴らしさに触れ、2025年8月より会員活動部に加わっております。今後は、知見や人脈が広がる本協会の魅力をより多くの方へ伝えられるよう、行事のサポート等を通じて協会と会員の皆様のさらなる発展に向けて、自分にできることから微力ながら貢献してまいります。(戸塚孝英 会員)

フレッシュフォーラム実行委員や定例会への参加を通じて、会員活動部の諸先輩方に温かく接していただいたことをきっかけに、同部への入部を希望いたしました。現在は行事の運営などを担当させていただきながら、毎月の定例会で会員・部員の皆さまと交流できることを楽しみにしております。今後も、フォーラムをはじめとするさまざまな活動に積極的にに関わり、協会の発展に少しでも貢献していきたいと考えております。(村田沙織 会員)